

事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>AI・IoT関連ソフトウェア、システムの企画、開発、販売</li><li>環境・エネルギー分野におけるITソリューションの企画、開発、販売</li><li>環境・エネルギー分野における専門コンサルティング事業</li><li>環境・エネルギー事業の海外展開コンサルティング</li><li>上記の関連事業</li></ul>
部署	企画営業部
所在地	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第二ビル4F
連絡先	(電話番号)03-3518-9797 (E-mail)info@eii-net.co.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	当社は国連が掲げるSDGs17の目標に対し、AI・IoT・ロボティクス等の先端情報技術を用い、廃棄物処理・リサイクル業界のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を通し、Smart Waste Managementの実現を目指すとともに、地域循環共生圏の拡大を目指します。

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション

分野 エネルギー／サーキュラーエコノミー／交通／防災

◆ 事業コンセプト (Smart Waste Management®の実現)

Smart Waste Management® (SWM)とは、廃棄物処理分野において、情報通信技術 (ICT) を活用し、あらゆる作業プロセスを自動化・データ化し、クラウドで一元管理、ビッグデータ解析等によって、さらなる安全性、効率性、生産性の向上を実現し、未来のスマートファクトリーの姿を目指すソリューションです。

詳細は下記URLをご確認ください。

URL: <https://eii-net.co.jp/products/swm.html>

◆ 自動配車システム ADS (Autonomous Dispatch System)

収集運搬における複雑な制約条件や数多くの回収拠点等に対し、最新のAIアルゴリズムを実装し、最適配車の自動化を実現させ、従来の人的配車を上回る実用化できる自動配車システムを構築する。

本事業は、環境省の2019年度CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業として採択されており、大栄環境株式会社と共同で行っているAI・IoTを活用した地域循環共生圏を実現するダイナミックカーボンマネジメント実証事業がこちらの自動配車システムとなっています。

・ADS製品ページ

<https://eii-net.co.jp/products/ads.html>

・環境省ページ

[https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cpttv\\_funds/ongoing.html](https://www.env.go.jp/earth/ondanka/cpttv_funds/ongoing.html)

◆ AI火花検知システム (Spark Eye)

廃棄物処理施設において、昨今リチウムイオン電池の混入による火災事故が頻発しており、そのような背景から開発したAI火災防止システムがこちらのSparkEyeとなっています。本システムは、画像認識AIの技術により、リチウムイオン電池などが破砕機において破砕された瞬間に発生する火花を自動検知 (0.05秒) し、アラート発報 (自動散水連携可) することで火災を未然に防ぐシステムです。

・Spark Eye 製品ページ

<https://eii-net.co.jp/products/aifire.html>

・Spark Eye プレスリリース

<https://eii-net.co.jp/news/20201116.html>

<p>ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション</p>	<p>◆ 廃棄物のAI自動選別ロボット (A.S.Robot)                  廃棄物処理施設の手選別ラインにおいて、過酷な環境下での作業軽減に努めるべくロボット化開発を進めている製品となります。</p> <p>・A.S.Robot製品ページ  <a href="https://eii-net.co.jp/products/asrobot.html">https://eii-net.co.jp/products/asrobot.html</a></p> <p>◆ 自動運転EV                  ◆ IoTスマートごみ箱</p>
<p>上記ソリューションを提供できる地域について</p>	<p>全国</p>
<p>自者の特徴</p>	<p>◆ グローバル産学連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社では多国籍でグローバルなメンバーで開発チームを構成しています。環境エネルギー分野では早稲田大学および海外の研究機関、廃棄物処理の現場として大栄環境グループと連携し、環境エネルギー分野におけるグローバルオープンイノベーションの創出を目指します。</li> </ul> <p style="text-align: center;">グローバル産学連携によるオープンイノベーションの創出</p>

## 自者の特徴



1



2



3

1. 2019年11月2,3日(早稲田祭)
2. 2020年11月26日(ラリージャパン岡崎)
3. 2020年12月10日(埼玉県北部地域AI・IoT普及セミナー)各イベントに出展し、AI/IoTの普及活動に努めています。

## SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

- 廃棄物処理・リサイクル業におけるAI・IoTの推進には、業界のICTリテラシーを向上させる必要があります。AIとは何かを理解した上で、導入の必要性を検討していく必要があります。弊社はAI・IoTの啓蒙・普及を含め、取り組んでいます。